

6年生 平和公園に社会見学に行きました。

10月3日(月) 平和記念公園、資料館に社会見学に行きました。

最初に語り部さんのお話を伺いました。語り部さんは現在85歳。小学校2年生(7歳)の時に被爆されました。焼け野原になった当時の広島の様子、家族をはじめ多くの方が目の前で命を落としていく地獄のような状況をお話してくださいました。きっと思い出すこともつらい出来事だと思います。それでも、二度と同じ過ちを繰り返させないために、伝えてくださっている語り部さんの言葉に子供たちも平和への思いを強くもつことができました。

次に、ピースボランティアさんによる慰霊碑めぐりをしました。平和公園内にある慰霊碑について分かりやすく解説してくださいました。教えて頂かなければ通り過ぎてしまうような場所がたくさんあり、勉強になりました。名前も分からない被爆者が眠るお墓の前で手を合わせ、原爆の被害にあったのは、日本人だけではないことも学びました。

午後からは、平和記念資料館を見学しました。残された言葉・衣服・おもちゃ・時計などから、当時の広島に生きていた人たちの姿を感じました。また、見るのがつらくなるような被爆者の記録写真もありました。

子供たちは、戦争の恐ろしさ・平和の尊さを感じることができました。今日の社会見学の学びを振り返り、今自分に何ができるか、すべきことは何かを見つめ直すことができたらと思います。



核兵器は、たくさんの人の命を奪う。そのとき生き残ったとしても、放射線によってあとからもずっと苦しむ人がいる。そんな恐ろしいものを使うなんておかしい。戦争は絶対にあってはいけないことを伝えたい。

(児童振り返りから)

核の傘に入る日本は、核兵器についてもっと考えないといけない。平和を追い求める私たちは、核兵器について知るだけでなく、知らない人に過去の過ちを忘れず、平和を求めるために、ヒロシマはなくてはならない所だということを伝えて行きたい。

(児童振り返りから)